

これからの100年を創る
杉本金属工業株式会社



森工場（溶接組立工程）

- 本社所在地：静岡県静岡市駿河区
下川原南2-24
- 事業概要：自動車及び家電製品加工並びに溶接組立部品
- 常時使用する従業員：220名
（2024年7月時点）
- 現在の売上高：79.7億円
（2025年3月期）
- 法人番号：5080001002231
- Web：https://sugimoto-mm.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

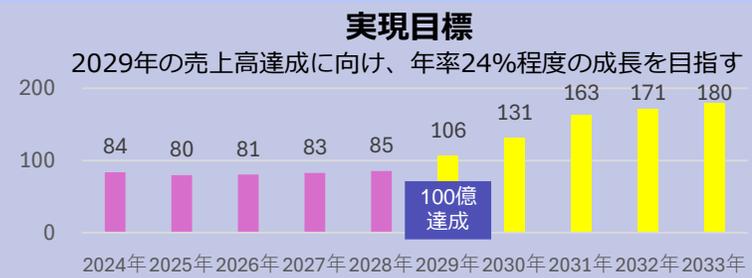


代表取締役
杉本 幸弘

取引先の信頼に応え、社業に関わる全ての人々の幸福を追求する

当社は1924年（大正13年）に金物屋として創業し、以来100年間に渡り幾多の荒波を乗り越えてきました。多くの困難に遭遇する中、先人達が培った技術力と挑戦の精神のもと、着実に道を切り開いてまいりました。100周年の節目を迎え全社一同経営理念を再認識し新たな挑戦により一層努力し、静岡県経済の発展に寄与していきたいと存じます。

売上高100億円実現の目標と課題



課題

- 世界情勢の変化やトランプ関税等による影響の度合いが不透明。
- 自動車業界におけるEV化への対応。
- 人手不足による採用難。
- 既存設備の老朽化による最新技術への対応難。
- プレスラインに手作業を要し、一部で生産性が大幅に低い。
- 新型コロナウイルスの影響など突発的事案の影響を受けやすく、事業対応力に欠ける。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

当社主要取引先である大手自動車メーカーは、量産EVの実現にシフトしており部材のハイテン化を加速化している。同社の量産要請に応えるため、当社は協力会社約10社と共にEV用サプライチェーンを早期に構築する必要がある。

ハイテン化によるEV対応は当社の中長期的な経営課題である。そのため新たな生産拠点を整備し最新鋭設備を導入するとともに、M&A等を通じた生産能力の増強を図る方針である。

EV分野の将来的発展を見据え、地域産業の振興、さらにはわが国の国際競争力強化にも大きく貢献したい。

実施体制

代表取締役を事業統括責任者とし、盤石な体制で新事業に臨む

目標実現のため、本事業の統括責任者として代表取締役 杉本幸弘を核とし、推進責任者かつ経理担当として現経理部長を置き事業全体の統括と財務統括を担当する。さらに、現場管理者として現生産本部次長を置き、設備管理および生産管理を統括する。このように当社の主力人員による盤石な管理体制を構築し新事業に臨み、事業推進と売上高達成を実現する。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです